

考

作

親展

一二二二〇 受信 一三二五〇 譯了 一四三〇 電 〇九四五七 航作本概 〇

二五

大海參一部・七基地航空部隊作戦命令着信艦所

信濃軍機

機密第二〇〇八四七番電

二五航戦信電令第三號

一 戦闘第九〇一飛行隊ノ配備基地ヲ此屋ニ豫定ス

三 戦闘第九〇一飛行隊ハ新編制發令後成ルベク速ニ新配備基地ニ進出スベシ。

通一一〇九二 呂一A(ロ) 佐世保

鹿屋空基地



作戦要綱 親展

一二二〇〇 受信一五四二〇〇 開始一五一〇〇 譯了一六五〇 電〇九五二九 作 概〇

南西方面艦隊F

一聯合基地航空部隊F・西貢代機

陸軍機

機密第二〇一四四番電

發 聯合艦隊參謀長

通報 威總參謀長 尙武參謀長

十八日大本營海陸軍部間ニ於テ決定セラレタル「現情勢ニ處スル捷一
辦作戰指導要領」ニ於テ「ミンドロ」ノ敵基地使用ヲ妨害スルニハ地
上作戰ヲモ考慮スルノ方針ヲ決定明示セラレアルニ付「ミンドロ」島遊
上陸作戰ノ速ナル實施ニ關シ現地陸軍ト再協議アリ度。

通一二一二三 呂二A (B) 聯合艦隊F

一二二一 受信〇〇三三二 譯了〇九一五 電〇九八九〇 特作
 譯始〇〇三三〇
 總無線艦所用共通符號



三 一 通
 軍令部次長。聯合艦隊P。第二遊撃部隊P
 第一聯合基地。航空部隊P
 機密第二〇二二三八番電
 二分ノ一、二

發 第二水雷戰隊司令官

宛 南西方面部隊指揮官

通報 威 尙武 眞

今次ノ作戰ハ萬策ヲ盡シ必成以テ突入効果ノ最大發揮ヲ期シアルトコロ
 敵情天測攻撃目標ニ遭遇セザルノ算ナキヲ保シ難ク又海上兵力數隻ノ
 沈或ハ驅逐艦ノ夜間陸上砲撃ノ如キ大勢ニ及ボストコロ難シ而モレイテ
 海岸附近作戰ノ反覆實施至難ト認ム希クハ本突入作戰ヲ以テ「ミンドロ
 通一一四八九・一一四九五 呂三Aラ六(六二三五)C(一〇)通

島一 方面戦局 轉回ノ契機タラシメ度本作戦ニ際 聯逆上陸 決行方切望シテ已
マズ

追而本作戦 腹案左ノ通

X一 二日一三〇〇カウチFEF出撃X日一三〇〇モロタイ九〇〇湮圈X日二三〇
○突入一X日ハ二十四日ト豫定シアルモ霞 高砂二十二日〇六〇〇以後ト
ナル場合二十五日ニ延期一。

7

作戰緊急



聯合艦隊

大海參一部長

機密第二一二三二二番電 三分ノ一三三

發 南西方面艦隊參謀長

聯合艦隊機密第二〇一二四五番電關聯

逆上陸ニ關シ全般作戰ニ及ボス影響護衛等ノ情況ヲ述ベ南方軍ト

折衝シタル所陸軍側ハ左ノ結論ニ達シアリ

現地ニ於テ是以上交渉ノ餘地ナキニ付了知アリ度

一、敵上陸軍驅逐ノ爲ニハ少クトモ二ヶ師ヲ要スル情勢逼迫ノ現狀

ニ於テハ防備極メテ手簿ナリルソソ方面ヨリノ抽出ハ一ヶ師ト

通 一九九八 月二A 經(四二七〇)三一通

一九九三

一二二二	受	〇〇二四二	電	一一二四六	作
一二二二	了	〇七三五二		〇〇二四七	概
一二二二	信	〇六五〇〇		〇二四八	〇
一二二二	始				

雖モ至難ナリ假ニ兵力及船腹ニ關シ中央ニテ考慮サルルトスルモ
一月中旬迄期待シ難シ

二、輸送艦及ヨヨ（現狀計五隻）ヲ以テ二乃至三回ニ分チ一ヶ聯隊
基幹兵力ヲ上陸セシムルトスルモ敵兵力並ニ橋頭堡ノ現狀ヨリ
見テ之ヲ以テ飛行場使用ノ望ナク若干ノ精神的効果以上ニ期待
シ難ク要之現狀ヲ以テ逆上陸ヲ敢行スルモ作戰目的達成ノ目途
少ク且ルソン方面ノ情勢逼迫ノ此ノ際方面軍ノ反對ヲ押切施行ス
ルコト成算ナシ。

作戰緊急

一二二二二 受

始信 一七三四
一二三五

了 一三三二

電一〇〇三八三
電一〇〇三八四

作 〇

總無線艦所用共通符號



聯合艦隊口・第三航空艦隊口

大海參一部。第一聯合基地航空部隊口。南西方面部隊口。七六二空

機密第二二〇九〇四番電 二分ノ六二

發 四F參謀長

十七日PB偵察寫真判讀成果左ノ通

一、在泊艦船

(イ) エニワク泊地

大巡二

工作艦一

大型輸送船六

中型輸送船一〇

大型油槽船九

中型油槽船一

驅逐艦八

小型艦艇一九

(ロ) メリレン泊地

中型輸送船八及其ノ他若干アルヲモ知レズ

(ハ) 其ノ他艦艇ヲ認メズ

五二二四九。二二二〇

五二二〇七六〇一七六三

小川

二、航空基地

(イ) エニウトク島主滑走路ノ北側ニ補助滑走路アリ北東部ニハ整備場及

幕舎多數アリ

其ノ他電ノ爲詳細不明

(ロ) エンチヤビ滑走路東西ニ一三〇〇米幅一五〇米一本主滑走路南ニ敵

飛行機誘導路一本

所在機數 小型五五機 誘導路以南ニ格納庫八棟¹⁷及幕舎群ヲ認ム

(ハ) ボコン島南西ニ長サ三〇〇米幅九〇米整地完了シアリ

將來西側小島ニ連結一二〇〇米程度ノ滑走路造成ノ可能性アリ。

至急



一二三

局長	課長	一八戰隊	機雷部隊
受信	開始	機雷	機雷
機雷	機雷	機雷	機雷
機雷	機雷	機雷	機雷
機雷	機雷	機雷	機雷
機雷	機雷	機雷	機雷
機雷	機雷	機雷	機雷
機雷	機雷	機雷	機雷

大海參一部・海上護衛總口

機密第二二〇九三九番電

信電令作第一五九號

二十日附兵力部署中機雷部隊ヲ左ノ通改ム

(指揮官兵力任務ノ順)

第十八戰隊司令官常機高榮丸第二二號海防艦第二九號海防艦濟州

從前通。

通一二二〇八天(日)佐世保 矢島(飯田)

〇四〇八 作區

作

緊急
親展

三三三三
受信 一四一〇〇
始 一四五〇〇
譯了 一七二〇〇
電 一〇七三〇
作 概 〇

第三十一通信隊

大本營海軍部・聯合艦隊

高雄警備府

機密第二二二一〇二番電

發 G K F 參謀長

威 向 武ハ最近情況判斷ニ於テ「バシ」海峽方面ニ對スル敵入攻

略作戦ハ「ルソン」上陸ニ先チ行ハルル算アリ

特ニ「~~...~~」ハ警戒ヲ要シ其ノ時機一月中旬頃ト判斷シアリ參考迄。

（東通註・誤字ノ爲遅延）

通 一 二 二 三 八

呂 三 A ケ 三 (一 二 八 一 〇 〇) 三 一 通

1000

一二二〇 受信一五三〇 譯了二七四五 電一〇四八〇 作概〇

作戰緊急親展



一聯合基地航空部隊 南西方面艦隊

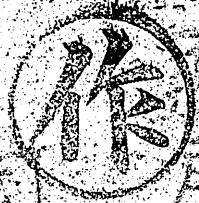
機密第二二二一三一六番電

發 參謀長

「ルソン」東方海面行動中ノ敵機動部隊ハ連日近距離ニ在リ且電波
輻射多キ點ニ鑑ミ「ミンドロ」攻略並ニ輸送ニ對スル牽制ヲ兼テ所
要時「ルソン」各航空基地制壓ヲ行フ爲待機シアルモノトモ判斷セ
ラル又菲島西側ニ浸入中ノ敵部隊ハ兵力並ニ通信狀況等ヨリ見テ「
ミンドロ」島ニ注入セラルル算大ニシテ「ルソン」島ニ對スル大規
模ナル攻略作戰ハ「ミンドロ」島ニ有力航空兵力展開後左ノ算大ナ
ク判斷セラルル考迄。

1047

通一二二七六 呂三AハBノ聯合艦隊



一三二二二

南方軍威總司令官 (三三氣付) ・一一根

長一課長	〇〇	九勇
A	〇〇	〇〇
B	〇〇	〇〇
E	〇〇	〇〇
J	〇〇	〇〇
C	〇〇	〇〇
H	〇〇	〇〇
D	〇〇	〇〇

〇六八九 作概〇

機密第二二二一八三二番電

發 第七八三航空隊

宛 威總參謀長

一、聯合艦隊機密第二〇〇八五七番電所報

「~~ラウン~~」偵察寫真判讀ノ結果左ノ通

「エニワトク」泊地大巡二 工作艦ラシキモノ一 輸送船大型六

中型一〇 油槽船大型九 中型一 驅逐艦一九「メリレン」泊地

中型輸送船八

三二一「ア」ドミラルテ一 偵察敵機ノ妨害ヲ受ケ偵察不充分ナ

リシキ港内ニ艦一〇〇隻以上ノ艦種識別不能ヲ認メタリ。

通一二四五四 呂一A (B) (C) (D) (E) (F) (G) (H) (I) (J) (K) (L) (M) (N) (O) (P) (Q) (R) (S) (T) (U) (V) (W) (X) (Y) (Z)



受信 二二二九
始信 二二二〇
譯了 〇〇四五

電一 二〇三八
電一 二二六七
電一 二二七〇

作概 〇

十一根カムラン派遣隊

第二遊撃部隊口。三十一通信隊

東京通信隊・禮號作戰部隊。十一根

機密第二三一—二番電 三分ノ二二三

發 挺身部隊指揮官 (第二水雷戰隊司令官)
宛 第三作戦ハ左ニ依リ決行ス
禮號 第三作戦ハ左ニ依リ決行ス
威 眞 尚武

一、軍隊區分 (部隊 指揮官 兵力)

第一挺身隊直率 (旗艦) 第二機巡隊 (情報班) 杉 榎

第二挺身隊 足柄艦長 足柄 大庭

三、突入日時 第一案 八月二二 三〇〇

第二案 八月二二 〇六〇〇

通一二九七三・一二九八四・二二〇四二 占二六三三 (九〇〇) 十通

(H)

(註)

(一) 特令ナクレバ第一案

(二) X日ハ二十六日ト豫定スルモ前日及當日午前ノ敵情ニ依リ突入

不適ト認ムル場合二十七日ニ延期スルコトアリ此ノ場合豫定變更

ハ二十六日一六〇〇迄ニ報告通報ス

三 行動概要

二十四日〇九〇〇F出撃二十五日一一〇〇A點(北緯一五度〇

〇分東經一一二度一七分)

二十六日〇七〇〇B點(北緯一五度三〇分東經一一六度四八分)

一三〇〇〇點(北緯一三度三六分東經一一七度一六分)

一一〇〇〇點(北緯一三度〇二分東經一一二〇度三四分)

二三〇〇(サンホセ)泊地突入(戦闘約一時間)

復航泊地西方離脱F直航歸投

四 攻撃目標ハ海上兵力上陸用舟艇及陸上集荷場ノ順

(日)

五、飛行機使用區分

- (一) 足柄 零水二機 X 日一六〇〇發艦對潛哨戒後「カナカオ」移動
- (二) 大淀 零水二機 X 日一七一五發艦薄暮索敵胸接ヲ豫定通實施
- (三) 足柄二機 X 日二〇三〇「カナカオ」發胸接照明「カナカオ」歸投
- (四) 全機 X 十一日適宜「カナカオ」發「E」歸投使用電波夕ヒ一〇

呼丙

六、通信味方識別第四次多號輸送作戰時ニ同ジ

七、補給

榎 櫻 杉ハ情況ニ依リ X 十一日 日没後 MM ニテ分離補給。

(東通註本電誤字極メテ多シ本電再送ノ爲遅延)

(H)



第二遣支艦隊口

機密第二三一五〇四番電

支那方面艦隊口
電一一〇七〇
航作
本概〇

宛 大本營海軍參謀部第一部長・軍務局長・GEB

大海機密第二一一九〇五番電關聯

香港方面局地防空及船團直衛ノ爲當地方ノ戰闘機ノ一部(使用兵力)

ヲ第二遣支艦隊長官ノ作戰指揮下ニ置キ第九五一海軍航空隊ニ編入以

降モ其ノ儘トナリ居處第九〇一海軍航空隊改編後モ同方面ニ對スル最

近ノ敵空襲情況ニモ鑑ミ戰闘機半隊程度常駐スルヲ必要ト認ム。

通一三〇一一 呂三Aラ一七(七四六五K)上海

一二二五 受信 一二五〇 譯了 一三二五 電 一七四六 作概 本〇

緊急



霧南・高雄・神ノ池各航空基地

機密第二五〇九一五番電 二分ノ一二

發 一八FGB指揮官

宛 第三十一航空戦隊司令官

通報 臺灣航空司令部 第六十一航空隊長

一月十日以後 司令部陸攻約五四機等 載約六〇機 櫻花作戰ノ爲 霧南及

高雄基地ニ進出シ クラーク航空基地ヲ 補助基地トシテ 作戰ノ爲 霧南及

付給 養宿營基地作業ニ關シ 然ルベク 準備方取計ハレ 度尙轉進計畫上必

一三八六九 呂二アラ十七(日) 不與津 山下(小野田) 一

要ニ付臺南高雄大崗山地區ニ集積利用可能左記ノ現状至急電報及航空
便ニテ通報ヲ得度

一、一式陸攻二四型用各種補用品消耗品及基地作業ノ保有量

二、零戰五二型用同前

三、車輛及基地作業

四、燃彈 魚雷 火工兵器

五、展開部隊ノ飛行作業及基地作業ニ協力可能人員及展開部隊ニテ隨件
ヲ要トスル特殊員。



一二 二五

受信一四〇七
開始一四二七

譯了一七三〇
電一二五七〇

作區◎

第十編



機密第二五一一二六番電

發 對參謀長

對潛航空兵力ヲ殆_ト全部ヲ第一護衛艦隊ニ編入セララル場合第二
 ○六獨立飛行隊（獨立飛行第四七乃至四九中隊）ハ之ヲ高警護衛部
 隊ヨリ除キ第一護衛艦隊ニ加ヘラルヲ適當ト認ム（第一護衛艦隊
 モ同意見）然ル_レ取計ハレ度

通一三九一三 呂一A（一三五二〇KC）高雄
 海軍

作戰緊急

一三二二五 受信二二三〇六 譯了二三三三〇 電一二二〇四五六 作概〇



◎ 第一聯合基地航空部隊飛行機配備基地
◎ 大海參一部・聯合艦隊口・南西方面艦隊口
◎ 禮號作戰部隊

機密第二五一八二一番電

二分ノ一、二

一 G F G B 電令作第一三三號

二 Y B (O 三 D 五) シンドロ サンホセニ突入作戰ヲ決行ヘ禮號作

戰ニ突入日時 (X 日) 二十六日二三〇〇情況ニ依リ二十七日〇六〇

〇ノ豫定

三 當部隊ハ左ニ依リ本作戰ニ協力セントス各部隊ハ既令ニ據ル外明ニ

十六日左ニ依リ作戰スベシ

(イ) 偵察隊スル海及薄暮時ノサンホセ附近偵察

通一四〇九五・一四二二二 呂二 A (B) (G F B) 鈴專 (禮) 田 ()

- (d) 第一攻隊隊天山山隊（約一〇機）第三攻隊隊（陸攻約二機）ハサン
ホセ^トスル海北部ノ敵艦船飛行場薄暮夜間攻撃（但シ艦船攻撃ハ
味方艦船部隊突入時前後二時間ヲ除クモノトス）
- (e) 第二攻隊隊（水爆約五機）及夜戰隊ノ一部（月光零夜戰計約三機）
ハ四時以降サンホセ附近敵艦船ノ偵察及突入時ナシ得レバ吊光^機
ニ依リ照明誘導（水爆隊）ヲナスト共ニ敵艦船時ニ魚雷艇攻撃ヲ
行フ
- (三) 制空隊ハ二十六日午後（情況ニ依リ二十七日ヲ加フ）一部ヲ以テ
味方突入部隊ノ上空警戒ヲ實施（別令ス）。

新編
作戰要

受信一五四〇〇
電話一六〇〇
電一二一九三
補人◎

東京通信隊・聯合艦隊口

暗號軍機

機密第二六一一〇

發
○ 參謀長
宛
人事局長 軍務局長
○ 參謀副長

通報 大海參一部長

「カライク」防空並ニ備力強化ノ爲メ緊急措置トシテ官本（一八六
六）ヲ警備隊司令ニ任命方取計ヲ得度

尙一〇 防衛參謀トシテ第一航空艦隊ニ參謀一名ヲ發
令至急赴任セシメテ現地制トシテ右參謀トシテ竹添（三一
二）ヲ希望シテ伊藤（二八五八）ノ兼務ヲ解カレ度

通一四三八六 呂三々三A（一二八一〇）三一通 海軍

		局長一課長	
A			
B	樫	K	王勇
E	舟	I	舟川
J		C	赤坂
		H	
F		D	

第十信譯

緊急要展

一一一

二二二
八七七

譯譯文
了始信
〇〇〇
九一〇
一一五
五〇九

南	西	方	播	磨	石	三	二	一
(〇)	(〇)	(〇)	(〇)	(〇)	(〇)	(〇)	(〇)	(〇)
高	警							

共通符號

電一二九五

補人
政人
部政

機密第二六二二三〇番電

發 一特基司令官

回天及乙標的進出基地視察施行二十六日出發ノ豫定。

一註、本電再送ノ爲遲延

通一四六一九 片二△ヲ十七(日)矣

緊急親展

香取航空基地	受領開始	〇五四七	〇九〇〇	電二二五六七	補空
神ノ海航空基地	〇六三三	〇九〇〇	二二五六七	〇	

機密第二六二三五四番電 二分ノ一二

- 一、一式陸攻機何レモ補用品乏シク必要最少
- 二、乗用自動車四貨物自動車一五燃料油自動車一五
- 三、基地兵器潤滑ナラザルモ支障ナシ
- 四、燃料在臺灣現量五・〇〇〇軒一月十日頃四・〇〇〇軒トナル見込
- 五、燃料在臺灣現量五・〇〇〇軒一月十日頃四・〇〇〇軒トナル見込

海軍 (一) 第一四七四九・一四七五四 月二・一・一七(四七〇五四)高雄

第十信

六 獲銃彈 (單位萬)

二十耗一號一五
二十耗二號 三七
二十耗保彈子七三
一三
耗一八回保彈子一二
七耗七獲銃彈七三
回保彈子三五
七耗 九
一六

七 協方可動艇員等三〇〇艘花一三〇
、講習中、陸攻二五〇
、陸
攻出艇數者少、要員隨伴員一機三付零式戰機機一陸上攻
擊機二

八 各自毛布二枚及食器携行要ス

九 詳細臺灣空口便三月未迄ニ携行セム

第十指
隊

二二二七

受領 〇〇九五三
開始 〇九五五

丁一〇一〇
一五七二

作機部



第七潜水部隊
大長・聯合艦隊口・六艦隊口・四艦隊口・三航空艦隊口・横領

機密第二七〇八三五番電

第七潜水部隊電令作第五四號

伊號第三七一潜水艦ハ「フネフ」NANA發GF電令作四五一號ニ

據ルPT及PTNノ作戰輸送ニ從事スベシ。

通二四八一六 呂二A (B (七SS 仙渡(岡崎)

一二二八
 受信 二〇五二
 始 二二一〇
 了 〇七三〇
 電 一三三五三
 作概 〇

香 取 空 基 地



第四艦隊口、二十七航戦了



局	聯合艦隊	第一航空艦隊	第二航空艦隊	第三航空艦隊	第四航空艦隊	第五航空艦隊	第六航空艦隊	第七航空艦隊	第八航空艦隊	第九航空艦隊	第十航空艦隊
第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八	第九	第十	第十一	第十二

一 K E G B 指揮官

玄作戰第一次 P U 偵察 T 一 一 彩雲二機ノ行動豫定左ノ通

一 行動豫定

二十九日 〇九〇〇 N M E 二向ク香取發

三十日 〇六〇〇 P T 二向ク N M E 發

三十一日 休養 一日 〇五〇〇 P T 後 P U 偵察 P T 歸投

二 通信電波 進出中 八二九〇 KC 作戰中 七八七〇 KC

三 呼出符號 進出中 一シサ一、二 作戰中 二イワ

一 東通註 誤檢ノ爲遲延

通 一五五六四

呂 三 A 六

木 更 津

一一二九
受信一三〇〇
開始一三二〇〇
一四一五
電一三四六八

補
動
事
部

第七潜水部隊

大 長
總 長
三
聯合艦隊
航空艦隊
第四艦隊
第六艦隊
横領

機密第二九〇八四五番電

七SSB電令作第五五號

指
修
記
号

伊號第三六二潜水艦ハ「ナシニ」
ルPTN作戦輸送ヲ實施歸途PTニ寄港四F機密第〇二一五四五番電
ニ應ズル如ク行動スベシ。

通一五八八〇 呂二A

局長	局長	A	B	C	D	E	F
局長	局長	A	B	C	D	E	F

三二二九 受信 一三〇〇 譯了 一三三五 電一三四六六 作 區

東 通 第二十五根 P

機密第二九一〇〇四番電

局長	一課長	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P

發 四KF參謀長

宛 大本營海軍參謀部 第一部長 軍務局長

大海機密第二八一八二五番電關聯左ノ改編ニューギニヤ部隊ト同時ニ實

施方取計ハレ度

一在ニューギニア二十五ABG兵力「ハボ」「コカス」方面ニ

一KGニ編入

二二十六建設部アンボン支部ヲ二十五建設部ニ編入換へ。

通一五八七二 呂三A(一八三六七五BC)二十一通



親至 展

一三三〇〇
 受信二二五〇〇
 譯始二二五〇〇
 譯了二三二二三
 電一四二四〇
 航作
 本〇

● 香取航空基地

● 六艦隊P・二七航空戦隊P

● 聯合艦隊P・四艦隊P・三航空艦隊P

機密第三〇一六五二番電

發一KFGB指揮官

玄作戰第一次Ps・G偵察十一彩雲三機ノ行動豫定左ノ通

一 行動豫定三十一日一〇〇〇NMEニ向ケ香取發一日〇六〇〇NME

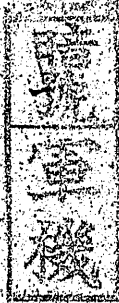
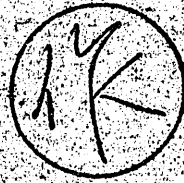
發Ps・G偵察NME歸投

二 使用電波進出中八二九〇作戰中ノ七八七〇

三 呼出符號一シ号三三二三三。

通一六六四三 呂五A) B) 木空、鈴木(森) 田)

緊急親展



一二二二一
受信一一三四
開始一一二〇
丁一一二四〇
電一四三一六
航作
本概

局長	平春	子勇	宗	宗
第一航空隊	第二航空隊	第三航空隊	第四航空隊	第五航空隊
第六航空隊	第七航空隊	第八航空隊	第九航空隊	第十航空隊
第十一航空隊	第十二航空隊	第十三航空隊	第十四航空隊	第十五航空隊
第十六航空隊	第十七航空隊	第十八航空隊	第十九航空隊	第二十航空隊

聯合艦隊 四艦隊 三航空隊

機密第三一一〇〇一番電

發 一 R F G B 指揮官

硫黃島附近天候不良、爲香取基地機密第三〇一六五二番電ニ依ル
S・G偵察彩雲三機ノ行動ヲ一日宛線下シ。

通一六八九七 呂三A (B) 木空基地



作戰特別緊急

一二三一 受信二〇三五 譯了二一四五 電〇〇一三五 作概〇



④ ケンダリ航空基地

④ H三空襲部隊

④ 一聯合基地航空部隊作戰命令着信鑑所

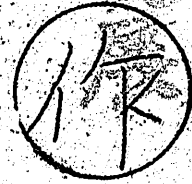
機密

機密第三一一八〇〇番電

H三AB電令作第六八號

電令作第六六號中ヲゴス基地天山一機ヲゴス基地天山二機ヲサン
基地天山一機ニ改ム。

通二七一八一 呂一A (八八八四KC) 三一通 鈴木 (秘) 田



緊急

受信二二二五二
開始二二二五五

譯了二三一五

電〇〇一二六

航作概〇
本概〇

● 大海參一部

● 第三航空艦隊

機密第三一一九一七番電

發 一 G F G B 參謀長

戰鬥第三〇一・七一五飛行隊攻撃第四〇一飛行隊ノ進出ニ關シテハ實
意通一月十五日台灣方面ニ進出待機ノコトニ取計ハレ度。

通一七二一四 呂三A (四二七〇KC) 三一通 鈴木(福田)

一二三

受信二二五五
開始〇〇四五

譯了〇一二〇

電〇〇〇一二二四
〇〇一二二五

作
概〇

至急親展

海上護衛總口・聯合艦隊各口
支那方面艦隊口・各鎮各警各長官

軍令部總長・第一護衛艦隊口
第二遣支艦隊口

作

機密第三一二〇三六番電

二分、二二

G F 電令作第四五七號

G F C S F G E B 各鎮各警部隊、何分、指示スル迄從前通、

作戰（海上交通保護並ニ對潛作戰ヲ含ム）ヲ實施スベシ

ニ海上交通保護並ニ對潛作戰ニ關シG E B 長官ノ指揮スベキG K F

一、二 A F C S F 兵力並ニ各鎮各警兵力ノ配屬ノ變更ニ關シテハ所

一七二二二四 呂二 A () 聯合艦隊口 鈴木 (吉 田) ()

1021

要ニ應ジ本職之ヲ指令ス

三 G E B 長官ハ別ニ指令スルトコロニ依リ通航ノ統制ヲ行ヒ又 G E B

S F 各級各警部隊ノ海上交通保護及對潛作戦ニ關スル教育指導並ニ護

衛艦隊ノ整備ヲ擔當統制スベシ

四 G E B 長官ハ船團ニ加入スル G E B 部隊以外ノ艦船船舶ヲ當面ノ任務

行動ニ關シ之ヲ指揮スベシ

五 本司令部發動ノ時機ヲ大海令第三六號ノ時機トス